

目指せ！最高学年

～委員会活動のよさについて、4年生にリーフレットで伝えよう～

平成29年1月27日

男子10人 女子16人

計26人

「伝えよう、委員会活動」(東京書籍)

本単元で育成する資質・能力

論理的思考力・判断力・表現力 協働する力 (資質・能力ルーブリックレベルⅣ)

1 単元について

I:【考え・基礎知識】

- ・リーフレット例から書き方の工夫について知る。
- ・助言の仕方を知る。

C:【つながり】

- ・情報を整理し、書き方を工夫してリーフレットを書く。
- ・助言し合って修正する。

E:【応用・ひろがり】

- ・リーフレットを基に、委員会活動について4年生に伝える。

児童の実態

- ★○ 調査した情報や資料が「必要かどうか」ということや「より効果的かどうか」ということを吟味して取捨選択する力はまだ十分でない。 —①
- ★○ 友達同士で助言し合う機会は多く設定しているが、助言の仕方について具体的に学ぶ経験はまだ少ない。 —②
- 「基礎・基本」定着状況調査国語タイプⅡ五1「情報の取り出し・情報を関係付けた記述」の設問で通過率が29.9%と課題がある。 —③

育成したい資質・能力と目標 ★資質・能力 ○国語科○国語科重点目標

- ★ 複数の事柄や資料などを関連付け、整理したり再構成したりして、適切に表現することができる。【論理的思考力・判断力・表現力 ルーブリック レベルⅣ】
- ★ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら、課題を解決することができる。【協働する力 ルーブリック レベルⅣ】
- 目的や意図に応じ、考えたことなどを効果的に書き表そうとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。【書くこと イ】
- ◎ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うことができる。【書くこと カ】
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(キ)】

教材について

- 委員会活動を振り返り、活動報告のリーフレットを作るという学習の流れが紹介されている。
→ 「来年のために、委員会活動について4年生に伝える」という特別活動と関連させた学習展開を工夫することができる。
- 資料を活用し、見出しやキャッチフレーズを付けたリーフレット例が載せられている。
→ 新聞・キャッチフレーズ作りなど既習の知識を統合して書く活動を設定することで、学習内容をスパイラルに繰り返し活用させることができる。

パフォーマンス課題とその特徴

来年度に向けて、校内における役割を次学年に引き継いでいく特別活動と関連付けて、「委員会活動のよさについて、4年生にリーフレットで伝える」という活動を設定する。目的や相手が明確で伝える必然性のあるリーフレットを編集し、友達同士で助言し合う活動を取り入れる。そうすることで、構成の効果を考えて書いたり、表現の仕方をよりよくするために修正点だけでなく改善策を指摘したりする力を付けることができる。また、委員会ごとにリーフレットを完成させて、学級でよりよいものにしていく探究的な学習過程で、本単元で付けた資質・能力を確実に育成できると考える。

指導のポイント

- ①③ 「課題の設定」場面で、学級で委員会活動についてどんなことを伝えたいのかという考えを話し合って明確にしておく。リーフレットの制作過程の中で「編集会議」をもち、思考ツールを使って情報や資料の必要性や効果について整理・分析させ、どんな意図で構成や表現の工夫をするのかという考えをもつことができるようにする。「編集会議」では、第一回：内容の選択・分担、紙面の構成、取材方法、第二回：内容の妥当性や再取材の必要性、第三回：目的や意図に応じた構成や表現（推敲）[同じ委員会グループ]、第四回：目的や意図に応じた構成や表現（助言）[異なる委員会グループ-同じ委員会グループ]、について検討する。
 - ② 一つの委員会のメンバーで1枚のリーフレットを編集したり、学級全体で各委員会リーフレットをよりよいものにしたりすることで、協働して学習する必然性をもたせる。助言する際は、共感・質問・助言というステップを踏まえるようにする。また、学習過程で、学んで分かったことを「リーフレットの手引き（仮題）」に残していき、記述や助言の際に参考にできるようにする。さらに、第四回の編集会議の前、教師のモデルリーフレットの改善点に対する助言を考えることにより、助言の仕方を学ぶ場を設定する。
- ※ 原小学校には、企画、放送、図書、掲示、環境整備、健康・給食の6つ委員会がある。

2 単元の評価規準

資質・能力 【論理的思考力・判断力・表現力】 【協働する力】	★ 複数の事柄や資料などを関連付け、整理したり再構成したりして、適切に表現している。 ★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりと4年生に向けてリーフレットを書くという課題を解決している。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベルⅣ】	
国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 委員会活動について、自分の考えを4年生に伝えたいという願いをもち、それが伝わるように事実や考えたこと等を関連付けたり比較したりしながら、効果的に書き表そうとしている。	○ 委員会活動について、伝えたいことを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。 (イ) ★論理的思考力・判断力・表現力 ◎ リーフレットが、書く目的や意図に応じた構成や表現になっているかどうかについて具体的に助言をし合っている。(カ) ★論理的思考力・判断力・表現力	○ リーフレットの目的に応じて、文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。 イ(キ)

3 単元の計画 (全11時間)

次	時	学 習 内 容	評 価		
			関	書	言
			○教科の評価規準 (評価方法)		
			★資質・能力の評価規準 (評価方法)		
単元前		(学級活動) 課題の設定 (特) ・ 委員会活動を振り返ったり、4年生のアンケート結果を見たりして、伝える目的を話し合う。 4年生に委員会活動のよさを知ってもらい、やる気をもってもらう	総合的な学習の時間に取り組んでいる米作りは、4年生に引き継いでもらうためにスペシャル番組を作ったね。 来年は今の4年生といっしょに、原小学校のリーダーとしてがんばらないといけない。 委員会活動のやりがいや大切さについても4年生に伝えておきたいな。去年はぼくたちも委員会のリーフレットを見せてもらってよく分かったね。		
第一次	1	課題の設定 (国) ・ 収集した様々なリーフレットから、学習のゴールイメージをもち、学習計画を立てる。 委員会活動のよさについて4年生にリーフレットで伝える	○		○ 自分の委員会活動についての考えをリーフレットで伝えたいという願いをもっている。(ノート・児童観察)
	2	情報の収集 整理・分析 ・ 教材文のリーフレット例から、リーフレットの書き方を学ぶ。		○	○ リーフレットの目的に応じて、文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。(ノート・児童観察)
	3	・ 各委員会で、伝えたいことを出し合い、リーフレットの割り付けを構想して分担する。[第1回編集会議]		○	○★ 委員会活動について、伝えたいことを明確にもち、それを表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(ノート・児童観察)
	4	・ 各委員会で、必要な情報を収集する。	○		○ 目的・相手を考えながらリーフレットに必要な情報を収集しようとしている。(ノート・児童観察)
	5	・ 分担したところを下書きする。		○	○★ 委員会活動について、伝えたいことが明確に表現できるように、収集した情報や資料の必要性や有効性について、考えて書いている。(リーフレット・児童観察) 【論理的思考力・判断力・表現力】(リーフレット・児童観察)
	6	・ 記事の下書きを持ち寄り、リーフレットに書く内容を整理し、再取材をしたり、記事を修正したりする。 [第2回編集会議]	○		○ 自分の考えを伝えるために、より効果的で更に必要な情報を収集したり、積極的に記事を修正したりしようとしている。(リーフレット・児童観察)
	7	まとめ・創造・表現 ・ 同じ委員会内で読み合い推敲する。 [第3回編集会議]		○	○★ リーフレットを読み合い、目的や意図に応じて書き加えたり書き直したりしている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(リーフレット・児童観察)
	8	・ 教師のモデルリーフレットの改善のための助言を考えることで、助言の仕方を学ぶ。		○	○ 書き手の表現の仕方をよりよくするために、目的や意図に応じた助言の仕方について考えている。 (助言カード・ノート・児童観察)
	9	・ 異なる委員会のグループで交流し、リーフレットに対して助言し合う。 [第4回編集会議]【本時】		○	○★ リーフレットの書く目的や意図に応じた構成や表現になっているかどうかについて具体的に助言し合っている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(助言カード・リーフレット)
	10	・ 助言し合ったことを基に、リーフレットを修正し、清書する。		○	★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして課題を解決している。 【協働する力】(振り返り・児童観察) ○★ 委員会活動について、伝えたいことを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(リーフレット)
第三次	11	振り返り ・ 各委員会のリーフレットを読み合い、交流する。 ・ 「原っ子マイスターカード」の「論理的思考力・判断力・表現力」「協働する力」の視点により振り返りを書く。	○		○ リーフレットの構成・表現の効果を確認することで、伝えたいという願いを高めている。(評価カード・ノート) ★ 友達と助言をし合ったことで、リーフレットがよりよいものになったことを自覚している。 【協働する力】(振り返り)
単元後		(学級活動) 実行 ・ リーフレットを基に4年生に伝える。	4年生が、委員会の大切さを分かってくれるようなリーフレットができたよ。 5年生みんなで助言をし合って、各委員会のリーフレットがよりよいものになったね。 リーフレットの構成や表現を工夫したり、友達に助言したりする力が付いたよ。		

4 本時の展開（本時 8／10）

（1） 本時の目標

- ★ リーフレットの表現の仕方に着目して、よりよくするために助言し合うことができる。
 【国語科／書くこと カ】【資質・能力／論理的思考力・判断力・表現力】
- ★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして話し合いをすることができる。
 【資質・能力／協働する力】

（2） 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価規準（評価方法） ○教科の指導事項 ★資質・能力
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 単元のゴールを確認し、前時の学習を生かして、自分達の委員会活動のリーフレットを更によりよくするという見通しをもたせる。	
情報の収集	2 異なる委員会グループで交流をする。 （1） 構成や表現の意図についての説明を聞く。 （2） 質問や助言をする。	◇ 異なる委員会グループを構成しておき、事前にそのリーフレットを読み、よさや質問事項・助言できそうなことを付箋に記述しておく。 ◆ 事前に、「リーフレット手引き（仮題）」と照らし合わせたり、自分の委員会のリーフレットと比較したりして考えをもたせておく。 ◇ 助言の3ステップ（共感・質問・助言）を踏まえ、前時に学んだ助言の仕方や「リーフレット手引き（仮題）」を活用することを確認する。 ◇ 伝えたい委員会のよさと各項目（キャッチフレーズ・活動報告・成果と課題）との関連を考え、構成・表現についてどのように書き換えたらよいのかを具体的に指摘できるようにする。 ◆ 「リーフレット手引き（仮題）」を参考にして、その中から選択させるようにする。	健康・給食委員会は、活動の写真で分かりやすく報告しているな。 図書委員会の読み聞かせの活動の成果はどうだったのだろう。 放送委員会のキャッチフレーズは、委員会の役割がもう少し表れる言葉を入れた方がよいのでは。
整理・分析	3 自分の委員会グループで、交流の報告をする。	◇ 助言されたことや、他の委員会リーフレットのよさ、自分の委員会リーフレットに取り入れられそうなところなどについて話し合うようにする。	企画委員会の活動の事実は書けているけど、委員会のよさを成果でもう少しPRしたいな。そのためには…
まとめ	4 本時のまとめをする。 【まとめの例】	◇ 自分の委員会グループのリーフレットのどこをどのように変えるとよいのか、助言し合ったことを基に、修正させる。	○★ リーフレットが、「委員会活動のよさを伝える」という目的や「伝えたいことを明確に伝えるためにこのように書いた」という意図に応じた構成や表現になっているかどうかを具体的に助言し合っている。 （助言カード・リーフレット）
振り返り	5 本時を振り返り、次時につなげる。 【振り返りの例】	◇ 単元のゴールとつなげて、「助言し合うことで考えが深まった」「リーフレットがよりよくなった」という視点で振り返らせる。	★ 異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして課題を解決している。 （振り返り・児童観察）

めざせ！最高学年 委員会活動について、四年生にリーフレットで伝えよう

論理的表現力

協働する力

めあて

友達と助言し合い、リーフレットの構成や表現をよりよくしよう。

助言のポイント

共感 → 質問 → 助言

意図

くなくさを伝えたいから
こんな構成や表現にした

目的

委員会のよさが伝わる
リーフレットに

○ 目的や意図に応じた表現
や構成になっているか

- ・ 活動内容
- ・ キャッチフレーズ
- ・ 成果と課題

【学びの深化】

1 異なる委員会グループで
2 同じ委員会グループで
3 全体で

リーフレットの例（拡大）

まとめ

☆ 活動内容

委員会の役割との関連が
分かるように

☆ キャッチフレーズ

委員会の役割が分かる
表現に

☆ 成果と課題

役割が達成できている
← 資料を活用して説得力を
もたせる

振り返り

論理的思考力・ 判断力・表現力	判断基準
A	リーフレットが、「委員会活動のよさを伝える」という目的や「伝えたいことを明確に伝えるためにこのように書いた」という意図に応じた構成や表現になっているかどうかを具体的に助言し合い、根拠の明確さや論理の展開などについて、自分の表現の参考にしている。
B	リーフレットが、「委員会活動のよさを伝える」という目的や「伝えたいことを明確に伝えるためにこのように書いた」という意図に応じた構成や表現になっているかどうかを具体的に助言し合っている。
C	リーフレットが、「委員会活動のよさを伝える」という目的や「伝えたいことを明確に伝えるためにこのように書いた」という意図に応じた構成や表現になっているかどうかを助言し合っているが具体的な改善策を伝えることができない。 または、目的や意図に応じた助言になっていない。

協働する力	判断基準
A	異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を適切に伝えたり、相手の意見のよさを理解した上で受け入れたりして課題を解決している。
B	異なる意見や他者の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりして課題を解決している。
C	異なる意見や他者の考えを受け入れていない、または、受け入れているが課題を解決していない。